

## 令和3年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	稲 葉 晃 司 議員	1 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
1	富士宮市工業振興ビジョンについて伺う	<p>(1) 令和3年3月17日の富士宮市議会全員協議会にて富士宮市工業振興ビジョンが発表された。計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間、上位計画等と整合性を図っていくとのことであるが、事業用地需要の状況や市民アンケートの結果、中小企業振興懇話会等の意見からこのタイミングで発表されたように思う。これから工業系の地区計画がつくられていくと思われるが、どのようなプロセスを経てつくられていくのか。</p> <p>(2) どのような工業団地を考えているのか。例えば、現状の工業団地に隣接させることにより工業団地の課題を解決するもの、また、西富士道路にインターをといた要望等もあることから、西富士道路周辺にアクセスの良い工業団地、星山浄化センターに隣接させてバイオマス発電事業者が進出しやすい環境を整備し、山梨県の甲府南部工業団地におけるスマート工業団地化検討事業のような取組を見据えた工業団地、障がい者施設に隣接させて就労のための教育、研究、訓練を考えた工業団地など、具体性なくして工業振興ビジョンはないと思うことからそれらを踏まえた市の考えはいかがか。また、新たに考えている工業団地の付加価値をどのように考えているのか、企業が進出してみたくなるようなイメージ戦略等の取組はいかがか。</p> <p>(3) 工業団地の手法について伺う。手法として静岡県、富士宮市、民間の選択肢があると思われるが、市の考えについて伺う。</p> <p>(4) 基本方針5の不確実性への対応について伺う。</p> <p>① 施策1の事業継続性の確保の取組としてリスクマネジメントに対する支援とあるが具体的な支援とは何か。</p> <p>② 施策3の地域防災力の強化に向けた連携の取組として企業防災機能の強化とあるが具体的な内容は何か。</p>		市長 副市長 関係部長
2	富士市が取り組む西部浄化センター消化ガス発電事業の手法を富士宮市はどのように考えるのか	<p>(1) 令和3年3月29日に富士市西部浄化センターにて消化ガス発電事業の発電開始式が挙行された。この事業の概要は、富士市が西部浄化センターで発生する消化ガスを富士市が民間事業者売却し、事業者は処理場内に整備した発電施設を用いて再生可能エネルギー固定価格買取制度により売却収益を得る。この収益で発電施設の設計・建設、維持管理・運営及び撤去までのすべての経費を賄い、事業者は売電収入により既設の消化槽等の改修に対し設計・建築を行い工事完了後に市に無償で引き渡すといった内容である。予想効果ではあるが、再生可能エネルギー固定価格買取制度の活用により、民間事業者の採算性の確保ができた。また、下水道財政支出の抑制と消化ガス販売等による新たな収入源の創出ができ、施設の延命化の実現、施設機能の向上と発生汚泥の減量化も大きく期待できるとのことである。富士宮市でも消化槽のところ大きな課題であることから富士市の今回の取組は大変魅力的な取組であるように思うが、今回の富士市の取組を見て、富士宮市は今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p>		市長 副市長 関係部長

発言 順序	議席 番号	氏名	稲 葉 晃 司 議員	2 / 2
発言項目		要 旨		答弁者
		(2)	富士市では東部浄化センターでは高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による効率化エネルギー利活用技術実証研究（B-DASHプロジェクト）も行われている。先進的な取組を行う富士市との職員交流等は考えられないのか、伺う。	
		(3)	その後の星山浄化センターと衛生プラントの統合の進捗状況はいかがか。	
3	富士宮市内の小中学校における支援員の配置状況について伺う	(1)	富士宮市内の小中学校における支援員の配置状況について伺う。小中学校のニーズに沿って配置できているのか。それぞれの課題等はないのか。	市長 副市長 教育長 関係部長
		(2)	令和2年度、一人1台のノートパソコンが配布されたことにより教育現場において新たな課題ができたように思われるが、市内における全体の支援員の数は何人増加したのか。	
		(3)	特に中学校で起こっている現象として不登校になる前の生徒の傾向として、保健室やその他の教室に集まる傾向がある。その理由として授業についていけない、クラス（集団）になじめないなどの理由があるそうである。そのまま放っておくと不登校になったり学校の治安が悪くなったりするそうだが、そのような生徒に教員の手が回らない状況にあるようである。そのような生徒を見てくれる支援員をとの声があるがこういった声は理解されているのか。また、今後の対応策等は考えているのか。	
		(4)	そもそも市の財源で市独自の支援員の配置をすると現状の支援員が引き上げられるなどのペナルティーはあるのか。	
		(5)	富士宮市における令和2年度の出生数は705人と前年度を104人も下回る結果となってしまった。真剣に学校の統廃合について検討する時期に入ったと考えるが、教育委員会は令和2年度の出生者数の減少をどのように捉えているのか。	